



写真で見る第10回学会大会

日本災害情報学会は、第10回学会大会（研究発表会、総会など・実行委員長：鷹野澄東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター教授）を10月25日、26日の日程で、東京大学（情報学環・福武ホール）で開催した。大会は、2回目の取り組みとなるメディアセッションも含め過去最多の65件の研究発表が行われるなど、243名（過去最多）が参加する実りあるものとなった。

10月25日（土）	受付開始	8時45分～	
	開会	9時30分～	
	研究発表会	9時35分～11時45分	A会場 B会場
	昼休み	11時45分～13時00分	
	理事会	12時00分～13時00分	
	研究発表会	13時00分～17時35分	A会場 B会場
	懇親会	18時10分～20時00分	
10月26日（日）	受付開始	9時00分～	
	研究発表会	9時30分～11時50分	A会場 B会場
	昼休み	11時50分～13時00分	
	総会	13時00分～13時40分	A会場
廣井賞授賞式・講演	13時50分～14時50分	A会場	
メディアセッション	15時00分～17時00分	A会場	
閉会	17時00分～17時10分	A会場	



過去最多の243名が参加！

写真で見る学会大会2008



研究発表会 (A. B2会場で開催)



メティアセッション [A会場(福武ラーニングシアター)で開催・7件の発表]



廣井賞授賞式・記念講演

日本災害情報学会は 2006 年、初代会長の故廣井脩氏（元東京大学大学院教授）の志を後世に伝えるため廣井賞を創設し、2 回目の授与式を 10 月 26 日、学会大会席上で行った。

今年荣誉に輝いたのは社会的功績分野の 2 件（学術的功績分野は該当なし）。

毎日放送ラジオ局は、阪神・淡路大震災以降 14 年間にわたり、震災報道番組「ネットワーク 1・17」を毎週放送し、被災者の声や教訓を後世に語り継ぎ常に備えを呼びかけるなど、減災社会の形成に大いに寄与している功績が高く評価された。

電気通信事業者協会安全信頼性協議会に属する、東日本電信電話、西日本電信電話、NTT コミュニケーションズ、NTT ドコモ、KDDI、ソフトバンクグループ、イー・モバイル、ウィルコム の 8 通信事業者は、「災害用伝言ダイヤル(171)」、「災害用ブロードバンド伝言板(web171)」、「携帯・PHS 版災害用伝言板サービス」を運営することで、大規模災害時に心配される社会的被害の軽減に努めており、災害情報分野において顕著な貢献をなすものと認められた。



毎日放送ラジオ局(大傘田智佐子氏)



電気通信事業者協会安全信頼性協議会(東方幸雄氏)

懇親会 [東京大学付属病院1階「レストラン わむの樹」]



総会

